



件名) 根強い北海道製品の人気。本物を求める声

■ 「北海道」人気の健在ぶり

近年、上海などの大都市では「高級ベーカリーブーム」により、道産小麦粉の使用を前面に打ち出し、道産小麦粉の業務用の袋を店頭で並べる店舗も見られます。これらはイメージをよくするための演出ではなく、道産小麦粉を使用したパンの味や食感が中国人から評価され、受け入れられているからこそのことです。価格は一般的なパンの2~3倍です。

また、高くても本物の北海道産品を求める消費者は多く、インターネット上では、北海道のお土産として知名度のある菓子や乳製品が人気です。中国における越境EC市場の拡大や、正規品の販売を保証するサイトの充実により、日本で購入するよりは割高ですが、手軽に北海道産品を購入することが可能です。

一方で、北海道人気にあやかる商品も多く、デパートやスーパーマーケットなど様々な場所で「北海道パン」や「北海道チーズケーキ」といった北海道を冠した商品を見かけますが、そのほとんどは道産原材料を使用していない「北海道風」を謳ったものです。



上海市内の生食パンの店。道産小麦粉（ユメチカラ）の袋を並べPR



スーパーに陳列される「北海道食パン」（※道産食材の使用はなし）

■ アルプス処理水放出の影響

2023年8月のアルプス処理水放出により、日本産食品の輸入手続きが厳格化され、一般的な店舗で販売される北海道産品は少なくなりました。

特に、以前はよく目にした焼肉のたれ等の調味料は、水産品由来成分（コンブや鰹だし）が使用されているため輸入不可となり、水産由来成分を「シタケ成分」に変えるなど、各社が工夫を凝らしています。

■ 実際の消費者の声

当事務所では、2023年8月に熊本県と提携した半導体に関する協定に基づき、2024年7月、上海市内の北海道料理店で、北海道と熊本県の郷土料理や酒を提供する2週間のフェアを開催しました。

フェア前日には、250名を超える応募の中から選ばれた30名を招待し、ラーメンサラダや豚丼などの北海道グルメを含むフェアメニューを楽しんでいただく、オープニングイベントを実施しました。

フェアでは、道産米ななつぼし以外の原材料は、中国で調達した食材を使用しましたが、参加者からは、「美味しいご当地グルメと最新の現地観光情報を聞くことができ、次は北海道に本物を食べに行きたい。」との声が聞かれました。



2024年7月開催の北海道・熊本 満喫フェアの様子（上海市内）

■ 所見

水産物を中心とした日本産品への輸入規制の影響が残っているものの、中国での北海道や北海道産品の根強い人気は健在です。

イベント等の機会を通じて触れ合う中国の皆さんは、北海道のよいものを知りたい、理解したいという気持ちを持ってくださっていることがよく分かります。

当事務所では、今後も、北海道のよいモノ、よい情報を中国の皆さんに紹介する機会を大切にし、北海道ファンを増やす活動を継続していきます。